

第7号  
 平成24年7月10日  
 発行 塾長 上谷 恭範  
 〒 111-0052  
 台東区柳橋1-26-3  
 TEL 03(3862)9218  
<http://www.syumei.co.jp>

## 「それぞれの夏休み」 塾長 上谷 恭範（良憲）

夏休みというのは、「人生の想い出づくり」ではないかと思う。だから各人それぞれの夏休みがあるのであって当然だと思う。人生の想い出づくりであるなら、ただぼうつとした40日間だったら面白くもおかしくもない。大きな計画をたて、それにチャレンジする青少年の姿は美しい。その計画が仮に達成できなくても……。そうだ。それぞれの夏だ。

「私は」、本を読むことが嫌いだから、好きになるために本を100冊読んでみたい。朝から夕方まで毎日図書館に通ってみよう。

「私は」、天体の事が全然わからないから、毎日プラネタリウムに行つて星の研究をしてみたい。

「私は」、からだ弱いので毎日早起きして乾布摩擦して、ラジオ体操して、公園を駆け足しよう。

「私は」、一学期、学校の通知表で算国又は英数国が5段階で3であった。ようし二学期5になって先生を両親をおどろかせてやろう。そのため今年の夏は8時間の勉強をやってみよう。

「私は」、受験生。今の偏差値は45、しかし合格したい学校の偏差値は55。あと10偏差値を上げたい。できるだろうか。塾の先生に相談し、40日間勉強計画を立ててみよう。勉強方法を教えてもらおう。よし!! 頑張るぞ、この夏休みを。

「私は」親からよく集中力がないだの忍耐力がないと言われる。この40日間毎日朝6時に起床、8時〜12時まで塾に通い、13:00〜15:00自由時間、15:00〜18:00塾の復習、19:30〜21:30学校の夏休みの宿題。この計画をやり遂げ精神力をつけてみよう。「精神一到何事か成らざらん」だ。「やればできる。できる。何でもできる。」

このように1人ひとりの平成24年の夏休みがあるのが、だからだらした40日間にはしたくない。夏休み全体の大きなプラン・目標を立て、それに向かつての一日の計画——起床してから就寝するまでの時間割を——作り、日々それを実行することにより、自立した精神力(忍耐力・持続力・継続力等々)が構築される。

最後に毎日1時間でも読書の時間をつくってもらいたい。内容も少々難解な本を読んでみてごらん。一冊の本を推せんしておく。

「君たちはどう生きるか」吉野源三郎著 (新潮社版・ポプラ社版)

〈保護者の皆様へ〉 文中の「私は」というのは皆様の大事なお子様です

応援してあげてください

## 内申点対策クラス開講について

寺川 豊

このたび、公立中学生を対象として内申点対策クラスを開講しました。このクラスでは、高校受験に使用される内申点を中学1・2年時から着実に上げていき、受験学年では内申点対策と同時並行しながら受験対策へと移行していきます。

中学1・2年時は「ドリームスクール」に属し、通常授業では中学生が最も苦手としやすい英語と数学について指導、着実に基礎学力をつけていきます。テスト範囲が提示されるテスト約2週間前からは、通常授業が「定期テスト対策授業」に移行します。この「定期テスト対策授業」では、5教科全てを指導し、学校ワーク・プリントなど生徒の持ち込み教材にも丁寧に対応します。ドリームスクールでは定期テストの成績を着実に上げていき、最終的には学年全体でトップテンに入ることを目標としています。

中学3年になると「高校受験クラス」へ移行します。高校受験に使用される内申点は中3・2学期の成績ですから、中学3年生の1学期も定期テストの点数を上げることを目標に授業を行います。中学3年生の夏期講習では中3・2学期の内容を全て先取り学習しますが、これも中3・2学期の成績を上げるために集中授業を行っています。夏休みも終わり2学期に入ると、定期テスト対策と同時並行して、個人個人の力をはかりながら、通常授業においても高校受験対策を取り入れていきます。2学期が終わってからは、完全に高校受験対策一本になります。冬期講習において、生徒はそれぞれの都立受験対策(自作作成問題含む)、また私立受験校対策に励むこととなります。

高校受験の準備を始めるのはいつが良いか…その答えは「早ければ早いほど良い」です。苦手科目があるお子さんは中3になって突然苦手科目ができるのではありません。内容が難しくなるにしたがつて、中2までのいずれかの時期に苦手科目を作ってしまうのが一般的です。修明学園では中学1・2年時から高校受験を見据えた指導をしています。

## 夏期講習—幼児英才教室—

脇田 良子

幼児英才教室の夏期講習の「ねらい」は

- 一、IQ(知能)を伸ばす。
- 二、入試に合格するための力をつける。
- 三、考える力をやしなう。
- 四、生活習慣・学習習慣の習得以上の四点です。

夏期講習は一期が五日間の連続した授業形態になっています。(通常授業は一カ月四回)また回数だけではなく五日間連続して学習することにより、理解度もアップし学力が付きます。最終日には、お教室で学習した内容を定着させるため、また学習習慣の習得のために家庭学習用の教材をお渡しいたします。

受験学年である二・三才児(三年保育受験)年少児(二年保育受験)年長児(小学校受験)向けの特別講座では、入試でよく出される内容や可否を決定する重要な問題を総合的に扱います。特に年長時の講座は、お弁当持参、おやつ付で一日五・五時間の授業を行います。

午前中は「ペーパー」を中心に、今まで学習した基礎学力を基に受験で必要とされる「応用力」「スピード」「最後までやりぬく力」を付けます。また、口頭試問・面接の練習を行うことにより「表現力」「発表力」「言葉遣い」「礼儀」も身につけることが出来ます。午後からの「リズム体操」では指示をきちんと聞き取り「行動できる力」「人の話を聞く姿勢・相談できる力」(協調性)を養います。

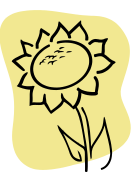
「絵画・工作」では指示を聞きとることはもちろん、表現技法(描き方)・きちんと最後まで仕上げること(忍耐力)を指導いたします。この夏を乗り切ることに、心身ともに成長し新しい課題に対応する力が養われ、自信を持って入試に挑めるようになります。

修明塾の1学期通常授業は  
**7月20日**までとなり  
 21日から夏期講習期間  
 となります。

また、20日の授業は  
**2時間繰り下げて**  
**15:00~17:00**  
**17:30~19:30**  
 となります。



幼児英才教室のホームページはこちら!  
<http://www.syumei-eisaikyoushitsu.com>



## 中学生ドリームスクール受講の皆さんへ

柴田 圭

公立の中学一・二年生の皆さん、いよいよ楽しい長い夏休みがやってきます。でも実は、本音を言うと、皆さんは部活動が忙しく、精神的にも体力的にも疲れてしまつて、「遊び」も「勉強」も全然やれないですよ？気持ちよくわかりますが、少し冷静になつて考えてみて欲しいのです。

夏休みの学習の目的は、一学期の内容を完全に復習し、基礎理解を定着させ、二学期に備えるためにあります。学校から出される各教科の課題も大半がそのようになっていきます。つまり、皆さんが意欲的に学習する期待を込めた「メッセージ」と受け取ってください。

中間・期末の定期試験を通して、点数が思うように取れなかった単元分野を、ぜひこの機会に克服しましょう。そう思つても、なかなかやる気が出ないこともあるでしょう。修明学園の先生方は、そんな皆さんを応援したいのです。もし、「成績を伸ばしたい」、今の自分を変えたいと悩んでいるのなら、もつと積極的に塾を頼りにして、どんどん活用して欲しいのです。実は、この夏、皆さんを「やる気にさせる魔法」を用意しています！

授業形式は、各教科とも分野別に演習を徹底し、個人の学習の到達目標に合わせて、マイ・ペースでやれるようになっています。さらに、応用・発展的な問題へのチャレンジを意欲的にしていきたい方にも、しっかりと対応して演習指導が可能です。その中で、計算力や英単語力・文法力を鍛え、読解力を伸ばし、二学期を安心して迎えられることでしょう。

今年の夏は、ドリームスクールの趣旨である「学校の成績でトップテン」を目指し、実力を確実に付ける準備期間として、有意義に過ごしましょう。修明学園は、受講した皆さんをしっかりサポートを致します。

## 夏期講習 —小学生ドリームスクール—

出井 寛太

### 1、勉強習慣の確立 —我々の試み—

わたしたちドリームスクールは「勉強習慣の確立」に重きを置いております。勉強習慣確立のためには、自己管理が欠かせません。朝起きてから夜寝るまでをどう過ごすか。どれだけの時間を勉強に費やせるか。机の前でどれだけ集中できるか。一日一日、それらを積み重ねていくことで勉強習慣が形成されていきます。食事や入浴、就寝と同様に、毎日決まった時間に勉強できるようにすれば、おのずと成績が上がっていきます。特に40日間の夏休みは、勉強習慣確立のため絶好のチャンスなのです。

勉強習慣の確立ということは確かに、容易なことではありません。小学生は、自制心・自立心がまだまだ足りないケースが多く見られます。まわりに流されてダラダラ過ごしていったら、いつのまにか2学期になつてしまった、などといったことも珍しくありません。無為に過ごせば、40日間なんてあっという間です。我々ドリームスクールは、そんな親御様のお悩みに合わせた指導を入れております。お子さんが自ら勉強に向かうようになるまで粘り強く接していきます。

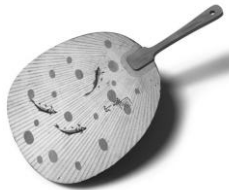
学年トップ10の為にはよい勉強習慣を身につけることが最も近道なのです。

### 2、正しい姿勢 —実際の授業風景より—

一例をあげると、正しい姿勢で机に向かうよう指導しています。姿勢が正しければ、気持ちに張りが出て、緊張感をもって勉強に臨むことができます。これにより自分のもてる力を存分に発揮して間違いを減らすことができます。

「姿勢」には「身体的・物理的姿勢」という意味だけでなく「考え・生き方などにかかわる姿勢」といった意味もあります。我々ドリームスクールは前者の指導を徹底することで、後者「勉強に対する取り組み」が育まれるものと考えています。気の緩みが出ては身につくものも身につけません。お子様に負担を強いているように感じられるかもしれませんが、充実した授業はそれだけ疲れるものなのです。

さいごに、創立45周年を迎えた修明塾が満を持して開設いたしました「ドリームスクール」ですが、早くも最初の夏期講習を開講する運びとなりました。われわれ小学部・中学部一同初日が楽しみであります。生まれ変わる修明塾をどうぞよろしく願います。



塾報バックナンバーは修明塾HPにて閲覧できます

<http://www.syumei.co.jp>

柴田先生の書く、修明塾ブログ日々更新中!

<http://ameblo.jp/syumei-gakuen/>



## 小6受験科における夏期講習

金子 義一

予習シリーズでの小6までの学習内容が一通り終了しましたが、みなさんはどれだけの単元を覚えましたが？まずここで、皆さんの学習スタイルの確認をしてみましょう。解けない問題を与えられた時何も書かず、すぐに「分からない」と投げ出してしまふ。また説明を聞いてもノートに写さず聞き流すだけ。あるいは時間をかけてノートに写したにもかかわらず、再度その解説を利用しない。そのような学習スタイルでは成績は、まったく上がりません。もしその現状ならば、すぐに改めましょう。

応用問題(入試問題)は、実は基本問題の組合せにすぎません。基本問題を十分解き、解法の手順を覚えましょう。ところが、自分一人だけで実践するには難しい。自宅には、ゲーム機、テレビ、携帯などあらゆる誘惑が皆さんの計画を阻止しようとしています。また、今日20問、自力で問題が解けたとしても、明日その類似問題が解ける保証もありません。

そこで、雑多な誘惑に負けず、コンスタントに学習して頂くために前期(7/21から7/31まで・ただし7/28を除く)10日間・中期(8/1から8/10まで)10日間・後期(8/17から8/26)10日間の3コースを用意しました。時間帯も8時からスタートと生活リズムを崩さないように配慮しました。教材も予習シリーズ夏期講習テキストを使用し、未完成単元を中心に復習をしていきます。9月以降には志望校別入試演習が楽しくとけるように基本事項をマスターしましょう。

## 中3受験科における夏期講習

寺川 豊

東京都では、都立・私立ともに高校受験では中3・2学期の内申点が採用されます。都立においては内申点が3割、6割反映されますので(割合は受験校により異なります)、中3・2学期の内申点がライバルに後れを取ってしまうと、入試前からハンデを抱えてしまうこととなります。逆に内申点でライバルに差をつけることができれば、優位に受験を進めることができます。私立を受けるにあたっては、内申が各校の提示する基準を満たしていれば入試において優遇措置をとる学校も多々あります。

お子さんの大事な進路に関わる内申点は、中学3年生の2学期の成績で大方決まってしまう。そこで、中学3年生の夏期講習では、中3・2学期の内容(公立中学校の12月までのカリキュラム)を5教科全て先取り学習します。それによって、2学期の学習内容でつまづくことを防ぎ、2学期の学校開始時には、授業内容を余裕をもって理解することが出来ます。夏期講習の組み立ても「1科目50分」(1月)〜(金までの授業)と学校形式に即してありますので、お子さんに大きな負担をかけることなく学習を続けられます。

中学3年生の夏期講習は「2学期先取りコース」がメインではありますが、夏期講習の第1週目(7月23日〜7月27日)には、コースを2つ用意してあります。

一つ目のコースは、「宿題完成コース」になります。「宿題完成コース」はその名の通り夏休みの宿題の大半を7月中に終わらせてしまうコースです。夏休みの失敗の原因は宿題を先延ばしにしてしまうことから始まります。このコースでは5教科の分からない問題を質問しながら、宿題を進めることができます。

二つ目のコースは、「全学年復習コース」になります。このコースでは英語・数学の2教科で開講しており、中1〜中3・1学期までの内容を復習することができます。ぜひ、修明学園の夏期講習で「失敗しない夏休み」をお過ごしください。